

令和7年度立川市旧清掃工場解体工事進捗状況報告会における質疑応答要旨

日時	会場	参加者		
		立川市民	小平市民	計
令和8年1月23日（金） 午後5時～午後8時	旧若葉小学校 南校舎1階教室	16名	2名	18名
令和8年1月25日（日） 午前10時～午後3時		10名	6名	16名
計		26名	8名	34名

1 主なご意見・ご質問等

<解体工事について>

（質問）旧清掃工場が竣工した年及び稼働期間を教えてください。

（回答）現在解体中の旧清掃工場は昭和54年に竣工し、平成9年に増設した施設です。稼働期間は約43年です。

（質問）どこの業者が請け負っているのか。

（回答）工事受注者は村本建設株式会社西東京営業所で、本店は奈良県です。

（意見）騒音がひどい時があった。

（回答）ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。引き続き、近隣に配慮して作業を行います。

（質問）雨天時も工事は行われているのか。

（回答）全覆い仮設テント内での解体作業は雨の影響がないため雨天時も工事を行っていました。一方で、煙突の外筒解体は強風など天候に左右されやすいため、天候次第では待機または中止しています。

（意見）全覆い仮設テントの基礎の壊し、山留及び掘削工事での騒音や振動が心配である。

（回答）低騒音型・低振動型の重機を使用するとともに、できるだけ騒音・振動が少ない工法を採用するなど最大限に注意を払って工事を行います。

（質問）仮囲い設置期間及び形状について教えてください。

（回答）仮囲い（鋼板H=3m）の設置期間については、解体工事中は設置し、現状と変わりません。なお、全覆い仮設テント解体後には防音対策として東南西側の一部を除き現状の仮囲いの上に3m（合計高さ6m）の防音壁を設置する予定です。

(質問) コンクリートガラは再利用しているのか。

(回答) コンクリートガラは再資源化施設に搬入し、再利用されます。

(意見) こまめな周知連絡があり、安全管理の下、作業が進められている。引き続き安全に作業を進めてください。

(回答) 今後も近隣の皆様には情報提供を行いながら、環境に配慮し安全で安心な工事に努めます。

<全覆い仮設テントについて>

(質問) 現在解体中の全覆い仮設テントの範囲はどの部分なのか。

(回答) 1月23日時点で全覆い仮設テント屋根部の膜材の撤去が終わったところで、今後屋根部のフレーム解体を西側から進めていきます。

<煙突解体について>

(質問) 煙突はどのような方法で解体しているのか。

(回答) 煙突は鉄筋コンクリート造の外筒と中に鋼板製の3本の内筒があります。まず内筒を1本ずつ吊り上げて下から切断していく手順で解体し、その後外筒を煙突頂部から少しずつ切断し、煙突内部へ吊り降ろしていく手順で解体しています。

(質問) 煙突解体がなかなか進まないがどうやって解体しているのか。

(回答) 外筒を煙突頂部から少しずつ切断し、煙突内部へ吊り降ろしていく手順で解体しています。高所のため、強風などの天候により作業ができない日もあります。

(質問) 煙突解体は今どのくらい進んでいるのか。

(回答) 1月23日時点で煙突外筒解体の作業は地上から65m付近(全長100m)の高さまで進んでいます。

(質問) 煙突解体工事の完了予定はいつか。

(回答) 地上部分の煙突外筒解体工事の完了は令和8年10月末頃の予定です。但し、天候による遅延の可能性もあります。

(意見) 煙突が地震でくずれるのはと心配している。

(回答) 煙突は耐震工事済みのため、震度6強までは耐えられます。なお、煙突の外筒解体は煙突頂部から少しずつ切断し、煙突内部へ吊り降ろしていく手順で進めています。

(意見) 煙突解体クレーンが高所にあるので強風で大丈夫か心配です。

(回答) 煙突外筒解体用のタワークレーンは煙突に壁ツナギを取り付け拘束しているため、倒れる心配はありません。

<地下躯体解体について>

(質問) 工場棟地下解体はいつ頃から開始するのか。

(回答) 工場棟地下解体は令和8年6月頃に開始する予定です。

(意見) 地下解体工事中の振動による自宅の損傷発生が心配です。

(回答) 周囲への影響がないように最大限に注意を払っていますが、工事による振動の影響が考えられる旧清掃工場の敷地からおおむね30m程度の範囲で家屋調査を行っています。何かあった場合は確認をさせていただきます。

(質問) 地下に埋めたガラはいつ搬出するのか。

(回答) 地下に埋めたガラは地下躯体解体時に合わせて搬出します。

(質問) 地下解体作業で使った重機は、最終的にどうやって地上にあげるのか。

(回答) 小型重機はクレーンで地上に運びます。大型重機は地下部を埋め戻した一部のスロープ状にしたところから地上まで上がります。

<土壌汚染について>

(質問) 何の汚染があったのか。清掃工場があったからなのか。

(回答) 鉛及びその化合物とふっ素及びその化合物の基準超過が確認されました。

清掃工場があったからなのかは不明ですが、鉛とふっ素などの重金属は自然由来とも考えられています。

(質問) 敷地全体で土壌汚染対策を行うのか。

(回答) 10mメッシュで区画し、調査の結果、104区画のうち7区画で基準超過が認められたため、対策工事はその7区画を対象に行います。

(質問) 汚染土はどうするのか。

(回答) 汚染土は土の入れ替えで掘削除去を行い、汚染土壌処理施設に搬入し、適正に処理します。

(質問) 地下水はどの位の位置で確認できているのか。

(回答) 調査の結果、地盤下約18mの位置で確認されています。

(質問) 土壌汚染の状況で工期が延びることはあるか。

(回答) 土壌汚染調査の結果から、これにより工期が延長することは考えていません。

<有害物質について>

(質問) アスベストはあったのか。

(回答) アスベストは一部のビニル床タイルや壁仕上げ塗材などへの含有が、調査の結果、確認されており、適正に処理が完了しています。

(質問) 煙突にアスベストはあったのか。

(回答) 調査の結果、煙突にはアスベストの含有はありませんでした。

(質問) 全覆い仮設テントがなくなり、有害物質の心配はないのか。

(回答) 有害物質の撤去除染工事については完了しています。引き続き、解体中の粉じんの飛散には十分に気を付けて作業を行います。

<環境モニタリングについて>

(質問) 周辺環境測定で使われている機器は校正されたものなのか。

(回答) 測定機器は校正済みのものを使用しています。

<粉じん及び鉄粉飛散について>

(質問) 鉄粉飛散が再発することはあるか。

(回答) 鉄粉飛散の再発がないよう考える対策を講じ、煙突外筒解体を再開しています。

(質問) 再発の際、再度補償対応できるのか。

(回答) 内容を確認し、工事によるものと確認された場合は対応させていただきます。

(意見) 車に付着物があつた。

(回答) 清掃の徹底など再発防止対策を講じ、煙突外筒解体を再開しています。今後、同様のことがあつたら確認させていただきますので連絡をください。

(質問) 施工途中で保険で対応されているが、後に鉄粉などによる被害が発生した場合は、どのような処置となるのか。

(回答) 前回の粉じんや鉄粉が飛散した際には、作業を一時停止し、再発防止策を講じた上で作業を再開しました。今後は同様の被害が起きないと考えていますが、万が一発生した場合は、まず現場を確認し、速やかに対応させていただきます。

(質問) 粉じんや鉄粉が飛散した場合、人の健康に悪影響はないのか。

(回答) 現場で発生した粉じん等の飛散による健康被害に関する相談は受けておらず、周辺住民の健康状態に影響を及ぼしてはいないと考えていますが、解体工事が完了するまでに、何らかの相談があつた場合は真摯に対応したいと考えています。

<解体後の跡地について>

(質問) 旧清掃工場の解体後、更地になるということだが、立ち入り禁止の対策は行うのか。

(回答) 敷地内に人が立ち入らないように周囲に柵を設置する予定です。

(質問) 跡地はどうなるのか。

(回答) 若葉町まちづくり方針では、旧清掃工場跡地は緑・やすらぎゾーンとして公園や広場、緑地などの用途で整備を行う予定です。

(質問) 跡地はまだ進まないのか。

(回答) 方針が策定されていますので、今後検討を進めていきます。

<その他>

(意見) 周辺住民に対しては、引き続き丁寧に情報提供をお願いしたい。

(回答) 必要に応じて、お知らせを配布するなど引き続き情報提供を行います。

(質問) 進捗状況報告会は今後も定期的に行われるのか。

(回答) 次回の開催については現段階では未定ですが、開催する場合はまたお知らせにより案内させていただきます。

(意見) 報告会で工事の内容を知ることができた。資料を紙でいただけるとありがたい。説明は専門的なのでもう少し分かりやすくしてほしい。また、スライドは良かった。

(回答) 今後の報告会等の参考にさせていただきます。

(質問) ネズミはその後どうなのか。

(回答) 前回の報告会(令和7年2月2日)以降、ネズミに係るお問い合わせなどについては、1件受けています。

(質問) 清掃工場から排出されていた灰はどこで処分していたのか。

(回答) 灰は日の出町にある二ツ塚処分場に搬入しエコセメント化されていました。

(質問) もう使用していない地域給湯管はどうするのか。

(回答) 地域給湯管は将来的に撤去を予定しており、時期は未定ですが、旧清掃工場解体工事完了以降となります。市で撤去するのは基本的には道路下の範囲と考えています。

(質問) 旧若葉小学校はどうなるのか。

(回答) 現在、旧若葉小学校利活用事業者の選定を進めています。